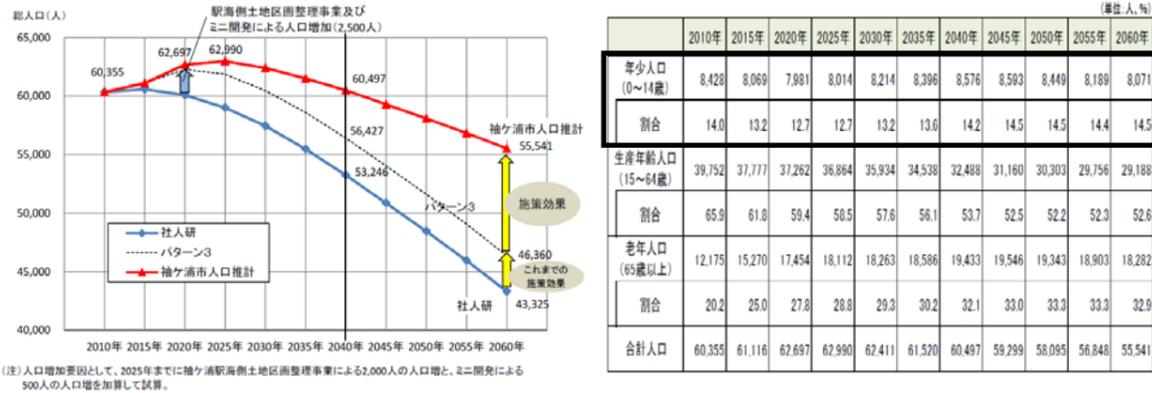


# 袖ヶ浦市の幼児教育・保育の取組みについて

## 1. 取組みの背景

### (1) 袖ヶ浦市人口推計（袖ヶ浦市人口ビジョンより）

- 本市では、今後の人口問題に対応していくため、袖ヶ浦市人口ビジョンを策定した。
- 現在、人口は増加傾向にあるが、長期的な推計としては減少傾向にある。
- 将来的な幼児教育・保育需要を見込んだ適切な規模の施設整備を行う必要がある。



### (2) 多様な幼児教育・保育ニーズ

- 袖ヶ浦市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査（平成25年度）では、就労意向をもつ母親が増加しており、今後ますます保育需要が増加することが見込まれる。
- 保育所の保護者からは幼児教育を希望するなど幼児教育・保育サービスの多様なニーズがある。
- 幼稚園の保護者からは、幼児教育の質の維持・向上や特色ある教育の充実、また、一時預かりや3歳児保育などのサービス拡充を望む声など、様々な意見がある。

### (3) 子育て応援プランの推進

- 袖ヶ浦市子育て応援プラン（平成26年度策定）に基づき、人口の増減など地域の実情を勘案しつつ、多様な市民ニーズに対応した教育・保育サービスの提供体制が整うよう努める。
- 保育の量的拡充により入所待ち児童の解消を進める。
- 様々な子ども・子育て支援に取り組んでいる。

#### 本市のその他の子育て計画等の位置づけ

- 袖ヶ浦市行政経営計画（第6次行政改革大綱 H27年3月策定）  
市民サービスの向上（幼稚園と保育所の連携）
- 袖ヶ浦市公共施設（建築物）の再編整備計画（H27年8月策定）  
子ども・子育て支援事業計画を踏まえた幼保の連携の検討
- 袖ヶ浦市幼児教育振興アクションプログラム（H23年3月策定）  
生きる力の基礎を培う幼児教育の充実

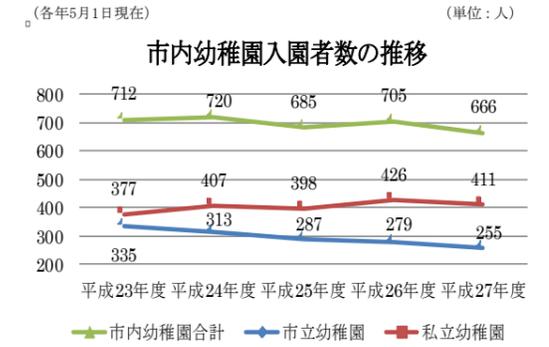
### (4) 市立幼稚園・保育所における幼児教育・保育内容の充実

- 本市では、幼稚園教育要領、保育所保育指針に基づく幼児教育、保育を行っている。
- 国では、0歳から小学校就学前までの一貫した幼児教育及び保育を行っていく幼保連携型認定こども園の教育・保育要領が策定されている。
- これらの要領、指針に基づいて幼児教育、保育を行っていくこと、または幼児教育と保育を一体的に行っていくことが求められる。
- 保護者のニーズに即した幼児教育・保育の提供を実現していく必要がある。

## 2. 現状と課題

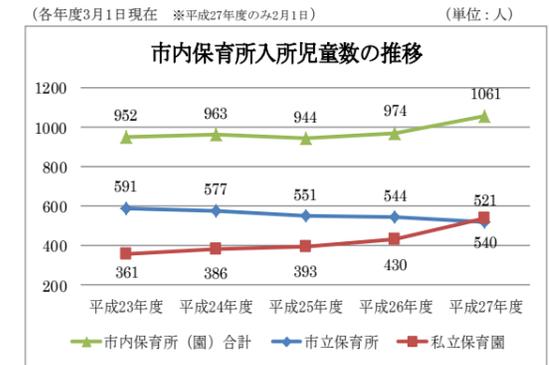
### (1) 幼稚園

- 市内幼稚園4施設（市立2、私立2）全ての幼稚園で施設定員を下回っている。
- 市立幼稚園では、入園者率は年々低下しており6割台にとどまっているが、入園者の保護者アンケートでは、「伸び伸びと遊ばせてくれる」などの理由から、8割を超える保護者が「満足している」との評価があり、また、運営継続を望む意見がある。
- 一時預かりや3歳児保育など保育時間を拡大する希望への対応を検討する必要がある。
- 今井幼稚園は、耐震工事が必要とされている。



### (2) 保育所

- 入所希望者及び入所待ち児童は継続的に増加傾向にある。
- 市内保育所は9施設（市立5、私立4）あるが、平成28年2月1日現在、定員を超えて児童を受け入れている施設が4施設ある。
- 幼児教育の希望への対応を検討する必要がある。
- 吉野田保育所は耐震性を確認する必要がある。



### (3) 施設整備

- 昭和地区では袖ヶ浦駅海側特定土地区画整理事業による人口増加が予想され、平成30年度を目途に定員120人の保育を中心とした新規施設の整備を見込む。
- 平川地区は地区全体で施設定員を下回っており、今後も人口減少が見込まれるため、幼保連携による再編・統合を視野に入れた検討が必要である。

## 3. 袖ヶ浦市の幼児教育・保育の検討における考え方

- ①本市がこれまで培ってきた幼児教育・保育の経験と実績を最大限に生かし、一体とした幼児教育を推進する。
- ②一貫した教育と保育の提供により、発達の連続性を確保し、義務教育へ円滑につなげる基礎を培うものとする。
- ③心身の健康に関する「健康」や人とのかかわりに関する「人間関係」、「環境」、「言葉」、「表現」といった内容を中心に、生きる力の育成に取り組む。
- ④保護者の就労状況に係わらず、就学前の幼児の健やかな成長と等しく教育と保育を受けることのできる機会を提供する。

## 4. 主な検討事項

- 市内幼稚園4施設の定員の充足による施設の有効活用
- 市立幼稚園入所率低下への対応
- 保育所入所待ち児童の受け入れ枠の拡大
- 幼児教育・保育の多様な市民ニーズに対応する認定こども園の推進
- 幼稚園・保育所における一貫性のある幼児教育・保育の検討
- 今井幼稚園・吉野田保育所のあり方と耐震工事
- 耐震改修済みの中川幼稚園の有効活用

## 5. 袖ヶ浦市の幼児教育・保育の取組みについて

### (1) 市立幼稚園を1幼稚園体制とし中川幼稚園を有効活用した幼児教育の継続

市立幼稚園の運営や教育内容に対する高い保護者評価に今後も対応するため、老朽化などの課題がある今井幼稚園を耐震改修済みの中川幼稚園へ統合し、市立幼稚園の運営を継続していく。

#### 1 運営体制

- ・定員210人（年少105人、年長105人）により市内全域から園児を受け入れる。
- ・小学校・保育所と連携した幼児教育カリキュラムを実施し、幼児教育の質的維持・向上を図る。
- ・送迎はバス4台で市内全域をカバーする。

#### 2 統合によるメリット

- ・一定規模の集団や豊かな自然環境の中で学ぶことにより、社会性等の「生きる力」の基礎を培うことができる。
- ・施設の有効活用と安全安心が確保される。
- ・小学校との連携が一層促進される。

#### 3 今後のスケジュール

- |         |             |
|---------|-------------|
| 平成28年度  | 保護者・地区説明会   |
| 平成28年度～ | 広報、HP等によるPR |
| 平成31年度  | 統合による運用開始   |



#### 4 今後の検討事項

- ・多様な幼児教育・保育ニーズに沿ったサービス拡充の検討を継続して行う。
- ・「子ども・子育て支援新制度」の施行に基づく保育料（1号認定）の料金体系の統一について検討を行う。

### (2) 昭和地区での認定こども園による保育の量的拡充及び多様な保育サービスの提供

昭和地区には保育所（園）が3箇所あるが、土地区画整理事業に伴う人口増加が予想されており、増加する保育需要へ対応するため、新規施設を整備する。

#### 1 昭和地区 私立認定こども園の誘致について

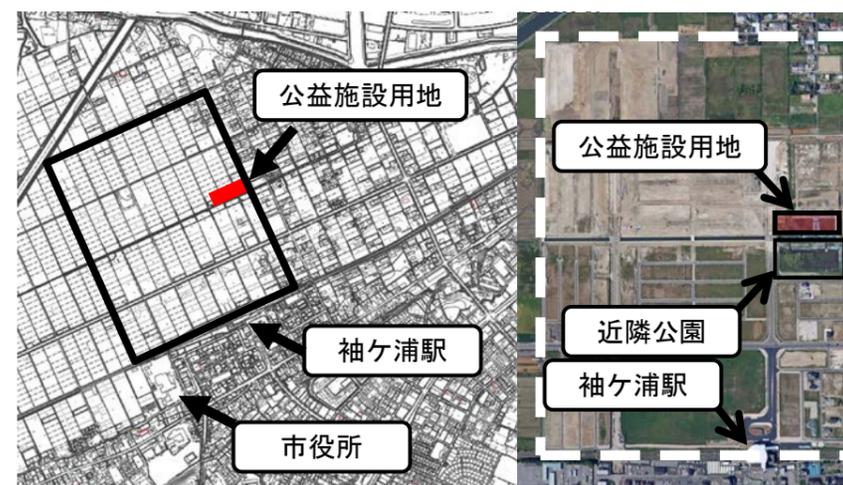
- ・新規施設については、国県補助を有効に活用でき、多様な保育ニーズに対応できる、民設民営の認定こども園として誘致する。
- ・施設規模は「袖ヶ浦市子育て応援プラン」において、定員120人の保育を中心とした施設の整備としているが、実際に整備する定員については、幼稚園定員を加え、ニーズ量の見込みを基に、認定こども園の認定権者である千葉県と協議したうえで決定する。

#### 2 誘致場所

- ・人口増加が見込まれる袖ヶ浦駅海側土地区画整理地内の公益施設用地を誘致用地として活用する。
- 所在地：袖ヶ浦駅海側特定土地区画整理事業地内  
敷地面積：5,713㎡ 用途地域：第2種住居地域  
建ぺい率：60% 容積率：200%

#### 3 今後のスケジュール

- |        |        |
|--------|--------|
| 平成28年度 | 関係機関協議 |
|        | 公募・決定  |
| 平成29年度 | 開設支援   |
| 平成30年度 | 開設     |



### (3) その他地区の幼児教育・保育施設の整備

- ・長浦地区では、幼稚園2箇所、保育所（園）3箇所及び平成28年1月に開園した小規模保育事業所により、当面のニーズに対応しつつ、状況把握に努める。
- ・根形地区では、今後大幅な人口増加が予想されないことから、定員を増加した施設にて、当面のニーズに対応する。
- ・平川地区では、全市を対象とした市立幼稚園1園と市立保育所2箇所、幼児教育・保育を提供する。また、子育て支援センターの設置について検討を行うとともに、吉野田保育所の耐震性を早期に確認する。

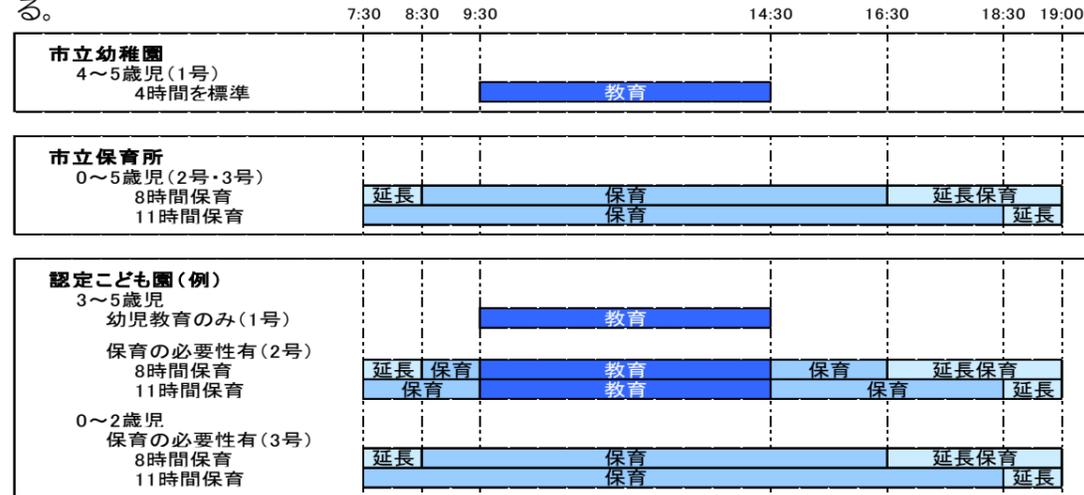
### (4) 今後の幼保連携の推進

- ・各施設における一貫性のある幼児教育・保育を提供するため、市立幼稚園・保育所共通の幼児教育カリキュラムの作成に取り組み、幼児教育・保育の質の向上や小学校との円滑な接続等を目指す。
- ・市立施設の認定こども園化については、先進事例等を精査しながら引き続き検討を行っていく。

# 認定こども園について

## (1) 認定こども園とは

- 幼稚園と保育所の機能や特徴をあわせ持ち、教育と保育を一体的に行う施設。
- 保護者の働いている状況に関わりなく、3～5歳の子どもは幼児教育・保育と一緒に受ける。  
※0～2歳の子どもが通園する場合は、保育の必要性の認定を受けることが必要。
- 保護者が働かなくなったなど、就労状況が変わった場合も、通いなれた園を継続して利用できる。



## (2) 認定こども園のメリット

### 1 幼児教育及び保育の総合的な提供

- 親の就労の関係で保育所に入所する児童であっても、認定こども園では幼稚園と同じ教育が受けられることから、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につなげる幼児教育の機会の提供の拡大が図れ、すべての子どもに質の高い幼児教育と保育の提供が行える。
- 認定こども園の幼児教育では、給食の提供、長期休暇中の対応や一時預かりの機会の提供など、総合的なサービスの提供が容易になる。

### 2 子育て支援施設の設置 (認定こども園に必置)

- すべての子育て家庭を対象に、子育て不安に対応した相談活動や、親子の集いの場の提供など、地域における子育てを支援する機能を持つ。

### 3 定員設定

- 認可定員※1の上限の範囲内であれば、利用定員※2を超える柔軟な受け入れが可能であるため、入所待ち児童の解消が図りやすくなる。
- 幼児教育・保育の需要の変化に対して、同施設の中で1号認定※3・2号認定※4定員の変更が可能であるため、将来にわたってニーズの変化に対応でき効率的な施設運用が図れる。
- 保護者の就労状況が変化し、1号認定から2号認定に、また2号認定から1号認定に変更になった場合、利用定員に空きがなくても、一定の範囲内であれば一時的な定員超過を認め、認定こども園の継続利用が可能である。

※1 認可定員：教育・保育施設の設置に当たり適正な手続きを経た定員

※2 利用定員：給付費の単価水準を定めるため、認可定員の範囲内で、施設・事業者からの申請に基づき、市町村が確認の手段の中で設定した定員。

※3 1号認定：満3歳以上の学校教育のみ（保育の必要性なし）の就学前子ども

※4 2号認定：満3歳以上の保育の必要性の認定を受けた就学前子ども

# 利用者数の状況・市立施設の状況

# 参考

## (1) 市内幼稚園入園者数の推移

(各年5月1日現在)

(単位：人、%)

地区	名称	平成25年度			平成26年度			平成27年度		
		入園	定員	入園者率	入園	定員	入園者率	入園	定員	入園者率
昭和	市立今井幼稚園	194	210	92%	188	210	89%	175	210	83%
平川	市立中川幼稚園	93	210	44%	91	210	43%	80	210	38%
	合計(市立幼稚園)	287	420	68%	279	420	66%	255	420	60%
長浦	私立袖ヶ浦桜ヶ丘幼稚園	171	200	85%	169	200	84%	166	200	83%
長浦	私立蔵波台さつき幼稚園	227	340	66%	257	340	75%	245	340	72%
	合計(私立幼稚園)	398	540	73%	426	540	78%	411	540	76%
	市内幼稚園 合計	685	960	71%	705	960	73%	666	960	69%

## (2) 市内保育所入所児童数の推移

(各年度 3月1日現在 ※平成27年度のみ2月1日)

(単位：人、%)

地区	名称	平成25年度			平成26年度			平成27年度		
		入所	定員	入所率	入所	定員	入所率	入所	定員	入所率
昭和	市立福王台保育所	142	120	118%	138	120	115%	126	120	105%
長浦	市立久保田保育所	140	120	117%	124	120	103%	119	120	99%
根形	市立根形保育所	111	90	123%	116	90	129%	115	120	96%
平川	市立平川保育所	86	90	96%	79	90	88%	77	90	86%
平川	市立吉野田保育所	72	90	80%	86	90	96%	84	90	93%
	合計(市立保育所)	551	510	108%	544	510	107%	521	540	96%
昭和	私立昭和保育園	107	90	119%	105	90	117%	106	90	118%
昭和	私立大空保育園							116	120	97%
長浦	私立長浦保育園	156	130	120%	168	130	129%	163	130	125%
長浦	私立白ゆり保育園	130	99	131%	157	120	131%	155	120	129%
	合計(私立保育園)	393	319	123%	430	340	126%	540	460	117%
	市内保育所(園) 合計	944	829	114%	974	850	115%	1061	1000	106%

※その他保育施設は含まず 家庭的保育(みらいっ子るーむ 定員5)  
小規模保育(みどりの風保育園 定員19)

## (3) 市立施設の状況

(平成27年4月1日現在)

施設名	敷地面積 (㎡)	建物			整備年	経過 年数	改修 後年	耐震 診断	耐震 補強	耐震 工事
		構造	対象面積 (㎡)	階数						
今井幼稚園	4,213.00	S	984	1階	S55.2	35	-	済	未	未
中川幼稚園	5,216.00	S	984	1階	S53.3	37	9	済	済	済
					平成17～18年度大規模改修 耐震補強工事					
福王台保育所	4,058.56	木造	988	1階	S51.3	39	4	済	済	済
					平成22～23年度大規模改修 耐震補強工事					
久保田保育所	6,131.31	木造	997	1階	S52.3	38	6	済	済	済
					平成21年3月大規模改修					
根形保育所	4,137.00	S	1,145	1階	S58.3	32	10	新	新	新
					平成20年3月内装、塗装、設備改修、平成22年屋根塗装					
平川保育所	3,186.40	RC	951	1階	H6.3	21	-	新	新	新
吉野田保育所	7,669.00	木造	943	1階	S51.3	39	-	未	未	未

※S・・・鉄骨造 RC・・・鉄筋コンクリート造  
新・・・昭和56年建築基準法改正後の新基準の規定による建物(耐震改修が不要なもの)